

Sustainable Report No.029

伝統的な建物を 活かした街づくり



サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

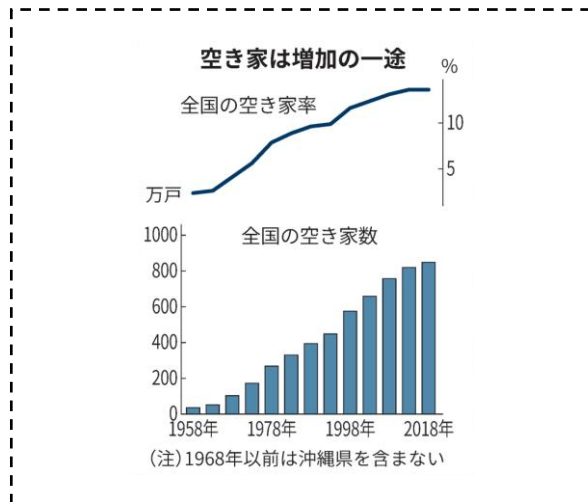
空き家が伝統的な建造物にも多数

■ 困難な伝統の継承

- 2018年に全国の**空き家は848万9千戸**、**空き家率13.6%**となり、1958年以降増加し続けている
- 伝統的な建造物が残る広島県尾道市では、2018年に空き家率20.6%と全国より高い水準
- 特に伝建制度*の対象地域では、周囲の環境に調和させるため外観が変わる改修が規制される
- 手入れがされない空き家の増加による景観の悪化や防犯・防災の不十分さ、生活の不便さから、**人口が減少し地区のコミュニティが希薄**になっていくのではないかと懸念されている

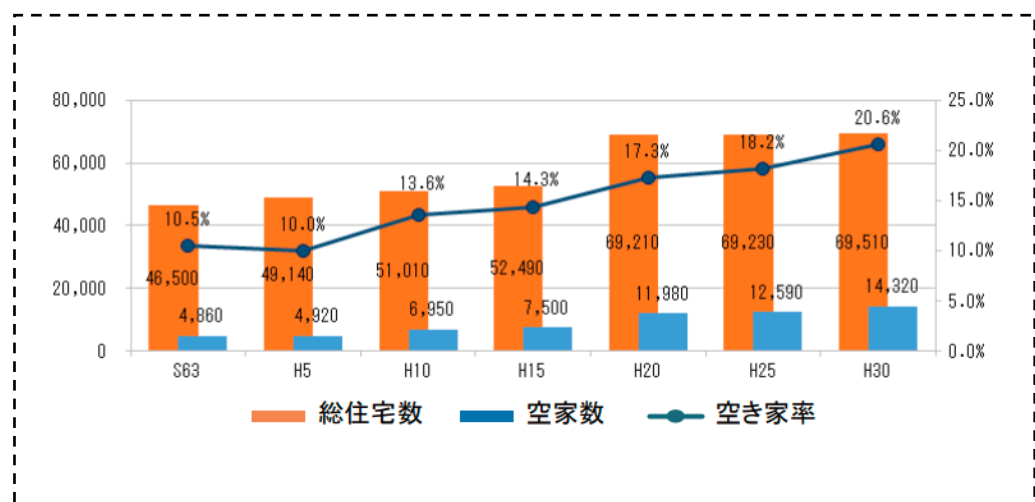
*伝統的建造物群保存地区の制度で、歴史的な集落や街並みの保存と整備を行うもの

■ 全国の空き家率・空き家数の推移



出典：日本経済新聞

■ 尾道市の空き家率と総住宅推移



出典：尾道市都市部まちづくり推進課

歴史的価値を残したままどう利用するか？

歴史的資源の活用

- NPO法人尾道空き家再生プロジェクトは、2008年から尾道の景観を守り新たな人々との繋がりを生み出すことを目指して、NPO会員費やゲストハウス運営による収益を用いて空き家の再生を行う
- 廃校になった学校や登録有形文化財、洋風文化住宅、アパートなど、**100軒程の空き家をゲストハウスやカフェ、ギャラリーに再生させ、移住者を150人以上**生み出した
- **空き家は状態が悪く改修工事が必要な場合が多く**、拡大に向けて費用や人手が足りないのではないかと

■ 廃校を利用したゲストハウス



出典：左右ともに日経BP総研フェロー

■ アパートを再生したカフェ

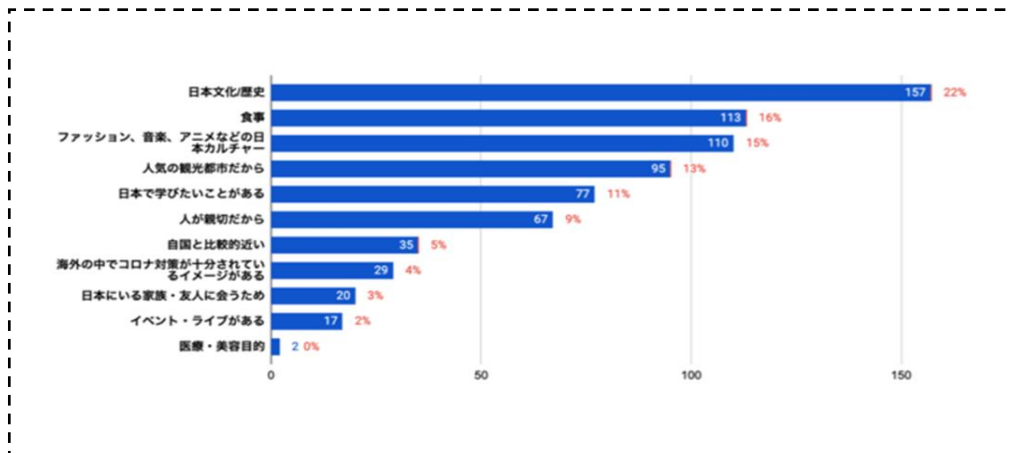


街並みを受け継ぎながら住みやすい街にするには

■ 活気にあふれた住みよい街づくり

- 地域によっては移住者は増えても少子高齢化により人口減少が進み、**空き家の再生が追い付かない場合もある**のではないかと
- 古くから残る文化や景色を守る精神があり、居住地として若者が移住したり、観光地として外国人に興味を持たれるなど、町に活気があふれることが理想
- 空き家を観光関連や宿泊施設に再生することで仕事の創出と住民の増加を図りながら、子育て施設など**生活になくてはならないものに利用**して住みやすい街をつくる

■ 外国人が訪日する目的



出典：株式会社LIFE PEPPER

■ 放課後の児童健全育成施設



江戸時代の建物を改修して再利用

出典：橿原市

生活に即した空き家の再生利用で活気ある街づくり

■ 参照・引用資料

- 日本経済新聞,「空き家率とは 過去最高を更新、住宅の大量供給響く」,2021年5月29日 (<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/uploaded/attac>)
- 尾道市都市部まちづくり推進課,層住宅と空き家率,2015年 (<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/uploaded/attachment/34514>)
- 日経BP総研フェロー,「空き家の再生を通じて尾道の景観を守り、新たな人々とのつながりを生み出す」,2018年9月18日
(<https://project.nikkeibp.co.jp/atclppp/PPP/030700027/090700023/>)
- 観光経済新聞,2019年12月 (<https://www.kankokeizai.com/>)
- 橿原市,「橿原市今井町(奈良県)」,2020年5月8日 (https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/hozonchiku/pdf/r1392257_067.pdf)
- 株式会社LIFE PEPPER,「【コロナきっかけで地方優先8割】新しい「日本体験」とは?訪日意向調査」,2020年12月22日
(<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000022.000016992.html>)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。